

日米回線を245Mbpsへ増強完了

1997年8月8日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都、社長：鈴木 幸一)の保有する日米間の国際バックボーン回線が8月5日135Mbpsから245Mbpsへ増強完了致しました。

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (8月5日現在)

| 日本側 | 米国側の接続拠点 | 回線帯域 |
|-----|----------|------------|
| 東京 | DIX | 45Mbps |
| | | 155Mbps(*) |
| 大阪 | NY-NAP | 45Mbps |
| | | 245Mbps |

(*)：今回増強した回線

今回増強した155M回線は、ATMを用いておらず、ルータ側のインターフェースとしてはCisco社のPacket OC-3 interface processorを用いています。

IIJは、1994年3月にはじめて192kbpsの国際専用線を引いた当時から、3年半で、約1280倍の国際回線の増強を実現致しました。今やIIJの保有する対米回線は、日本のみならず、アジア太平洋地域の激増するインターネット・トラフィックを支えるバックボーンとしての役割を担っています。

またIIJは関連会社のアジア・インターネット・ホールディング(AIH 本社：東京都、代表社長：鈴木幸一)が運営するアジアのバックボーン「A-Bone」と100Mbpsで接続しており、世界的に見ても最大規模、かつアジアを中心とする特色ある国際バックボーンを有します。関連企業による周辺サービスとあわせ、今後のインターネットの拡大に対応いたします。

以上